

『ゆっくり語り合う』 ～ 『励ましの言葉』 ～

2024 年 11 月 28 日千葉県 柏地域医療連携センターでの『柏がん哲学外来』（担当者；『がん哲学外来あびこカフェ』代表：中野綾子氏）に赴いた。筆者は、個人面談の機会も与えられた。【がんの悩みを病院の外で心置きなく話がしたい：『がん哲学外来』は、がん患者、経験者、ご家族の為の対話の場です。『がん哲学外来』を提唱された樋野興夫先生と ゆっくり語り合ってみませんか？】と紹介されている（画像）。

2024 年 6 月 27 日には、『柏がん哲学外来 15 周年記念講演会』を企画された。会場には多数の参加者であった。大変有意義な充実した講演会であった。スタッフの皆様の『心温まるおもてなし』には、ただただ感服した。

想えば、『柏がん哲学外来』は、2009 年当時の国立がんセンター東病院の病院長の江角浩安先生のお計らいで、柏の葉キャンパス駅隣接の国立がんセンター東病院の施設ビルで開始し、2016 年柏地域医療連携センターに移動されている。

2008 年 順天堂大学で『がん哲学外来』の開設の時に、【今は亡き『癌研所長：菅野晴夫(1925-2016)先生、国立がんセンター総長の杉村隆(1926-2020)先生、吉田富三(1903-1973)博士の長男で、NHK のプロデューサーであった吉田直哉(1931-2008)氏』】の御 3 人から『快挙であるとの励ましのお言葉』を頂いたことが、今回、鮮明に思い出された。

個人面談を終えて、スタッフの皆様と昼食の時を持った。【千葉県流山市の『ながれやま・がん哲学外来カフェ』代表：春日井いつ子氏 & 東京都内の『がん哲学外来亀有メディカルカフェ』代表：小暮信子氏】も参加されていた。『勝海舟(1823-1899)・新島襄(1843-1890)・内村鑑三(1861-1930)・新渡戸稲造(1862-1933)・南原繁(1889-1974)・矢内原忠雄(1893-1961)』と『マッチ売りの少女』(1848 年出版)の童話作家ハンス・クリスチャン・アンデルセン (Hans Christian Andersen 1805-1875) で、話しが大いに盛り上がった。大変貴重な『柏がん哲学外来』となった。

柏がん哲学外来

がんの悩みを病院の外で心置きなく話がしたい

がん哲学外来は、がん患者、経験者、ご家族の為の対話の場です。

がん哲学外来を提唱された樋野興夫先生と
ゆっくり語り合ってみませんか？

費用無料
1日3組まで
要予約

面談時間(45分)

- ①9時15分～10時
- ②10時～10時45分
- ③10時45分～11時30分



順天堂大学名誉教授

がん哲学外来市民学会代表

一般社団法人がん哲学外来名誉理事長

新渡戸稲造記念センター長

恵泉女学園理事長

樋野 興夫

2024年

4月30日(火)

5月30日(木)

★ 6月27日(木) 15周年イベント

7月25日(木)

8月29日(木)

9月26日(木)

10月24日(木)

11月28日(木)

12月26日(木)

2025年

1月30日(木)

2月27日(木)

3月27日(木)

面談会場

柏地域医療連携センター

【柏西口からバスでの行き方】

2番乗り場からどのバスでも可

「向原住宅」下車

進行方向信号左折2分

申し込みフォーム



【主催】 柏がん哲学外来

【後援】 柏市

がん哲学外来市民学会

【協力】 NPO法人ホップ・ステップ・ハッピー

【問い合わせ】 090-4619-6933 (中野)